

# HEALTH CARE

The Newsletter of the Japan Health Care Dental Association

vol.11 no.4

(年間6回刊行・通巻063号)



日本ヘルスケア歯科研究会

事務局 東京都文京区関口1-45-15-104

☎ 03-5227-3716

Fax. 03-3260-4906

URL <http://www.healthcare.gr.jp>

E-mail : center@healthcare.gr.jp

編集代表 杉山精一

編集制作 有限会社 秋 編集事務所

研究会入会金	歯科医師	5,000円
	その他	3,000円
研究会年会費	歯科医師	12,000円
	その他	6,000円
郵便振替口座	00190-7-407895	
口座名義	日本ヘルスケア歯科研究会	
銀行振込口座	三菱東京UFJ 江戸川橋支店	
	普 0931013	
口座名義	日本ヘルスケア歯科研究会	

## 重要なお案内

### ●以下の同封物をご確認ください。

ヘルスケアミーティング2008パンフレット

複数部同封しています。スタッフの方にお渡しください。

## 催しものご案内

### ① コアメンバー会議・第二次QOL調査研究報告会

日時：2008年9月28日

会場：東京八重洲ホール会議室412

### ② 歯科衛生士育成検定コース

日時：2008年10月12・13日

会場：新東京歯科衛生士学校

### ③ 歯科衛生士育成基礎コース

日時：2008年11月2・3日

会場：新東京歯科衛生士学校

キャンセルのため追加受付中

### ④ ヘルスケアミーティング2008

日時：2008年11月23・24日

会場：川口市民ホール・フレンディア

▷詳細 p.8-14, 20

巻頭 第6回認証ミーティング..... p.1	コアメンバー会議予定..... p.16
第7回認証ミーティング案内..... p.4	ヘルスケアフォーラム..... p.17
歯科治療はQOLの維持に貢献しているか? p.5	事務局から..... p.14, 18
ヘルスケアミーティング2008案内... p.8, 20	書評..... p.19
第3回オピニオンメンバー会議報告..... p.15	

## 第6回認証ミーティング

患者さんに「健康を守り育てる診療所」だと胸を張って紹介できる歯科診療所を全国に広げようという趣旨で行われる認証事業の第6回審査会（認証ミーティング）が、7月13日（日）、水道橋の東京歯科大学血脇記念ホールで開催され、3診療所が認証を受けました。新たに認証を受けた、「うつぎざき歯科医院」（茨城県水戸市・代表者：槍崎慶二）と「てらだ歯科クリニック」（兵庫県姫路市・代表者：寺田昌平）から感想が寄せられました\*。



### 認証プレゼンを終えて

槍崎慶二（水戸市・うつぎざき歯科医院）

私が認証ミーティングにエントリーし、「健康を守り育てる歯科診療所」認証を取得しようと思ったのは、自分の医院がこれまでしてきたことを、確かめたいという気持ちだけではなく、それ以上に、日本ヘルスケア歯科研究会への感謝の気持ちと、医院にかかわってくれた全てのスタッフへの感謝の気持ちが大きかったからです。

熊谷 崇先生をはじめ、諸先生方と日本ヘルスケア歯科研究会に出会えたことは、私の歯科医師人生に大きな影響を与えてくれました。10年前、熊谷先生の話初めて聞いたときの感動は、今でも忘れることができません。ヘルスケア型の診療とはほど遠い診療をしていた私には、熊谷先生は、果てしなく遠い目標に思えましたが、自分が進むべき道に光が見えた気がしました。そして、今でも、歯科医師として目指す道に迷いはありませんし、信念を貫いていきたいと思っています。それは、歯科医師として大変幸せなことだと思います。

また、私の方針に半ば強制的につき合わせられ、大変な思いをしながらも、一緒に歩んでくれたスタッフには感謝の気持ちでいっぱいです。医院のデータを整理し、プレゼンを作りながら思ったことは、自分がしたことは何一つないということです。歯周検査、デンタル、口腔内写真、サリバテストなど、ほとんど

うつぎざき歯科医院（水戸市、1993年開設）

槍崎慶二（会員番号99-0204）

日本大学松戸歯学部1987年卒

臨床歴：大学等医局員4年十勤務医2年十診療所開設後14年

診療所スタッフ：Dr.	1人
DH	3人
DT	0人
DA受付	2人
パート助手	1人

	月平均		開業から累計（カルテ数）	
	2006年	月間	484人	4,759人
来院患者	同	124人(26%)	1,000人(21%)	
メンテナンス患者数		男 970	女 1,110	
歯周組織検査などの入力件数		昨年メンテナンス受診患者数(700人)		
昨年度純新患数(22人)				

診療室の目標 1 5歳児でカリエスフリー 90%以上を実現する 1

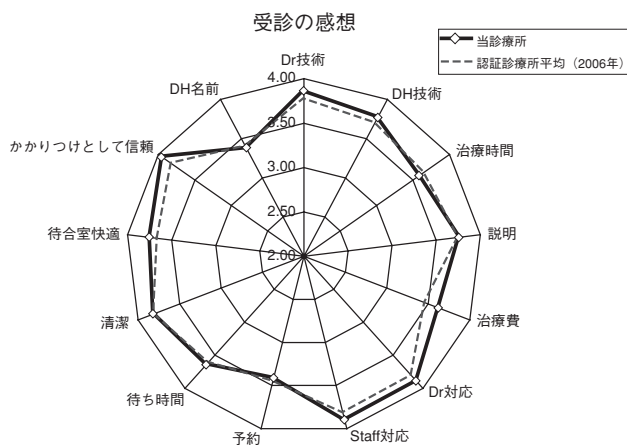
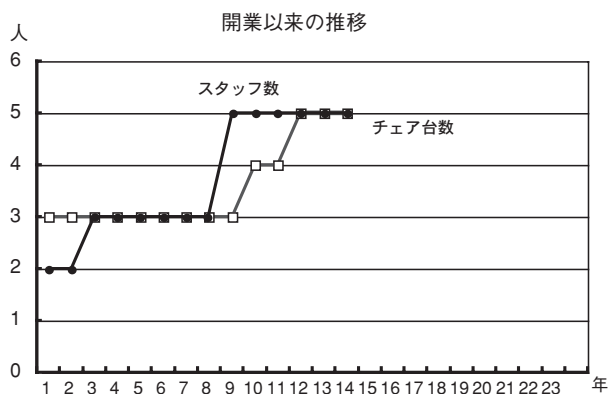


うつぎざき歯科医院のみなさん

全てが、スタッフのした仕事で、私はそれをまとめただけということに、改めて気づきました。認証は医院で取得するものです

が、院長の力よりもスタッフのチーム力が重要であり、スタッフの力で取得するものであると感じました。

また、認証取得は最終目標ではなく、単に通過点であると思います。認証ミーティングを通して、多くの課題が医院にあることがわかりました。これからも、現状に満足せず新たな気持ちで、「健康を守り育てる歯科診療所」として、より発展できるように努力していきたいと思っています。



認証を受けて

寺田昌平 (姫路市・てらだ歯科クリニック)

これまで多くの人に診療室を支えていただき、基盤を作る10年が経過しました。日本ヘルスケア歯科研究会に認証という制度があることは以前からは知っていたのですが、まだまだそのレベルに届いていないため、いつかは… というのが私自身の想いでした。

しかし認証を受けるための過程にこそ意味があるとのアドバイスをもらい、アタックしてみる決意をしました。

確かにその過程は簡単なものではありません。その日だけがんばったから取れるというものでもありません。日々一つひとつのほんの小さな階段を上っていくことでできあがるもので、非常にシンプルでした。

口腔内写真ひとつにしても、当初取り始めた頃には、忙しい診療の合間取るわけですから、そんなことより治療をした方が、と思う自分自身にストップをかけながら、撮り始めました。そんな凡事徹底を繰り返しているうちに院内ミーティング、研修会も開催され、チーム医療の確立ができるようになりました。また患者情報を蓄積して日常的に検索でき、

個々の患者のリスク改善の成果を評価することも可能となりました。さらにメンテナンスプログラムを確立し、メンテナンスに受診できる仕組みを作りあげ、健康手帳など自己管理カルテをもって自立型人間として自らの健康を自ら守り育てられる受け皿となり得たと思います。

認証診療室として認められるようになってきたこれまでの過程、またその現状を私たちの長所・価値としてこれからも

てらだ歯科クリニック (姫路市、1998年開設)		
寺田昌平 (会員番号 99-0117)		
岡山大学歯学部 博士 (歯学) 1992年卒		
臨床歴：大学医局2年+診療所開設後10年		
診療所スタッフ：Dr.	5人	
DH	9人 (内パート2人)	
DT	2人	
DA受付	5人	
シルバー	1人	
	月平均	開業から累計 (カルテ数)
来院患者	月間 800人	6,100人
メンテナンス患者数	同 200人 (25%)	
昨年度純新患数 (500人)	昨年メンテナンス受診患者数	(1,264人)



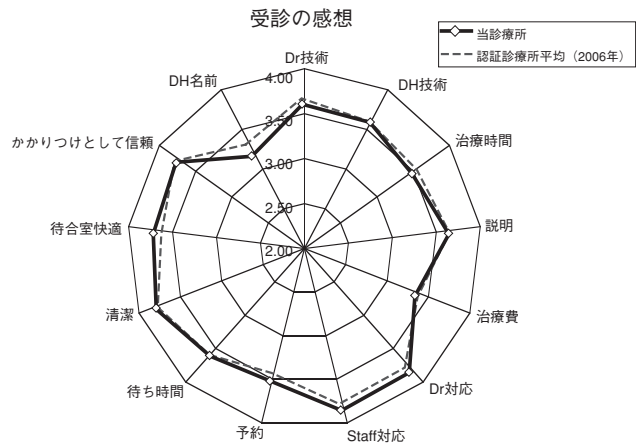
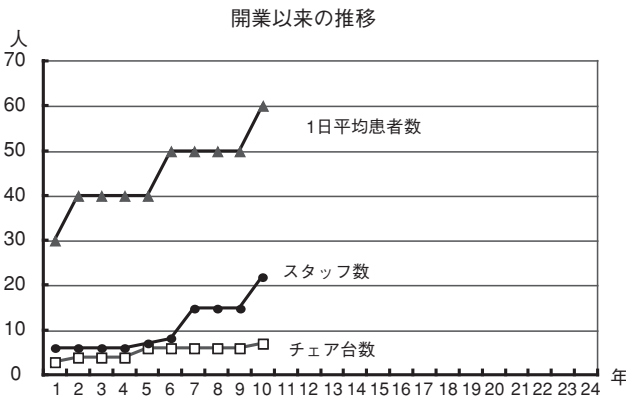
左から秋元さん、外部審査員の安井さん、寺田さんと外部審査員の和田さん

深掘り、また範囲を広げていきたいです。

そして歯科医療を通して自立型人間育成のお

手伝いが私の使命と思い、これからの10年を診療室の体制を整え、安定した診療、研究、教育の3本柱を背骨に腰の立った1日、1日を積み重ねていきたいと思っています。

最後に認証を受けるにあたって、スタッフ、関西ヘルスケア歯科談話会のみなさんなど、多くの方にお力をいただき感謝です。



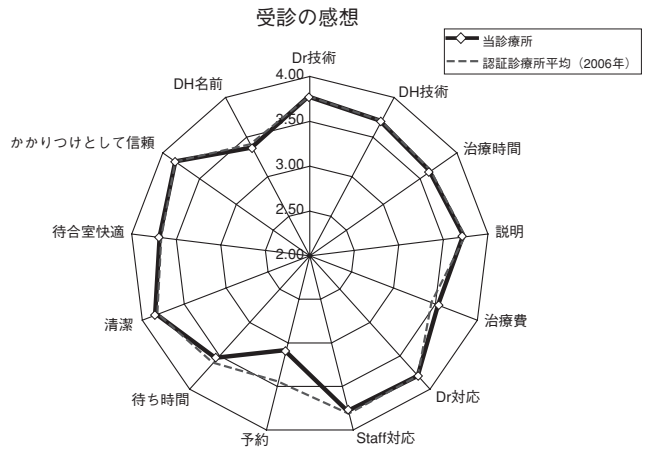
米子市・ワイエイデンタルクリニック

\*ワイエイデンタルクリニック(米子市)は、新基準による再認証です。発表は足本 敦さん

医療法人ワイエイオーラルヘルスセンター  
 ワイエイデンタルクリニック(米子市、2000年開設)  
 山中 渉(会員番号 98-0196)  
 九州歯科大学 1985年卒  
 臨床歴:勤務医8年+診療所開設後15年

診療所スタッフ: Dr. 3人  
 DH 17人(内パート3人)  
 DT 4人  
 DA受付 8人(内パート1人)  
 パート清掃スタッフ 2人

	月平均	開業から累計(カルテ数)
来院患者	月間 1,700人	9,639人
メンテナンス患者数	同 755人(44%)	2,485人(26%)
昨年度純新患数(1,670人)	昨年メンテナンス受診患者数(4,347人)	



認証事業ひとくちメモ

日本ヘルスケア歯科研究会では、2003年7月に第1回認証ミーティングを開催し、エントリーした16診療所のうち、13の診療所が「健康を守り育てる歯科診療所」として認証を受けました。スタート当初の認証の基準は、当時市販商品がひとつしかない検査キットを使って、来院患者の30%以上にカリエスリスク検査をすることを求めるものでした。その後、類似の商品がいくつも売り出されましたが、今では販売を中止したものもあり、残念なことに、今なお体外診断薬として薬事法の承認を受けている製品はありません。これは、ひとつに、カリエスリスク判定が、疾患の鑑別診断ではなく、リスクを患者自身が気づくための診断という新しい概念を求めているからでもあります。

このため認証事業では、カリエスリスクの判定の方法を柔軟に組み立て直し、認証そのものをステップアップガイド(ニューズレターVol.10 no.1)に示すように、着実に具体的に患者本位の診療所づくりを目指すものに整備し直し、第4回認証ミーティング(2006年4月)から、新たな認証の仕組みにバージョンアップしています。

## 外部審査委員と患者アンケート

第6回認証ミーティングでは、河野正清さん（コアメンバー）による認証事業の趣旨説明の後、うつぎざき歯科医院（茨城県水戸市）、ワイエイデンタルクリニック（鳥取県米子市）、てらだ歯科クリニック（兵庫県姫路市）の順に約3分の紹介の後、各15分のプレゼンテーションと10分の質疑応答が行われました。審査には、コアメンバー7人のほか、外部審査員として医療ジャーナリストの和田 努さんと安井禮子さん（元東京新聞記者）が医療を受ける立場から厳しい目を注ぎました。和田 努さんは、元NHKのプロデューサーで、医療介護分野で30年以上にわたってフリーのジャーナリストとして活躍されています。昨年、日本補綴歯科学会では、患者の視点を代表したシンポジストを務められ、日本ヘルスケア歯科研究会の認証制度についても、いくつかの媒体で紹介いただきました。安井禮子さんは、第4回認証ミーティング（2006年4月23日）につづく2度目の外部審査員で、趣旨・目的を十分ご理解いただき、鋭い質問をしていただきました。

審査結果は、診療哲学、システムの確立など9項目100点満点9人の審査の平均値は、うつぎざき歯科医院80点、ワイエイデンタルクリニック90点、てらだ歯科クリニック77点でした。なお、外部審査員は歯周病およびう蝕の治療とリスク管理については、評価をしていません。

### 認証事業の意義

本研究会の設立趣旨には、「何よりも重大なことに、疾病を未然に防ぐことが容易であるという歯科医療の可能性が、人々



外部審査員の和田 努さん



外部審査員の安井禮子さん

の目から隠されている。そのような事実を明らかにしたとき、果たして現実の歯科医療は受け皿になりうるだろうか」と語っています。こうした受け皿をつくるのが診療所認証の目的です。

また、この認証事業は、患者さんによる評価と健康アウトカム（患者さんの健康状態によって示される成果）を重視するという意味で、全医療分野の中でも画期的な試みです。この診療所評価は、歯科の多くの病気が予防可能であるという情報を患者さんに伝え、患者さんの健康がもたらされていることを評価基準にするものです。

そこで、この診療所評価では、次のことを求めています。

- 一定の基準（口腔内写真やエックス線写真を使って必ず患者に現症をわかりやすく説明していること）
- 必要な患者にリスク検査を行い健康行動を動機づけていること
- 臨床検査結果をデータベースにより管理し、ヘルスアウトカム（健康成績）を評価できること
- 一定割合以上のメンテナンス患者を維持していること

## 第7回「健康を守り育てる診療所」認証ミーティング 案内

日 時：2009年7月（詳細な日程は未定）

会 場：未定

※同日午前にはオピニオンメンバー会議開催予定

2008年より毎年夏に1回\*開催することになりました。2009年の詳細日程は決まり次第、ニュースレター、研究会ホームページでご案内します。患者さんによる診療所評価のアンケート調査などに2ヵ月程要しますので、遅くとも3ヵ月前のお申し込みが必要です。申込書類は事務局までお問い合わせください。なお、一般聴講も受付ます。

\*申請者が7医院を超える場合は、9月にも実施

申し込み期間：2008年9月～2009年3月末日

認証診療所は、ホームページの診療所検索ではっきりとわかるかたちになっています。また認証の更新については、Doプロジェクト調査1（初診患者データ）へのデータ提出を条件とし、2年以上にわたって初診患者データの提出がない場合には認証の資格を喪失することになります（ニュースレター Vol.11 no.1, 6ページ参照）。

Do プロジェクト 調査4 (フォローアップ調査) 中間報告

定期的なメンテナンスと口腔関連 QOL の関係についての研究 (参加診療所 26, 対象者総数 3,334 人)

# 歯科治療は QOL の維持に貢献しているか?

内藤 徹 (福岡歯科大学・総合歯科学講座)

以下の追跡調査中間報告は、1年目に調査した受診者のうち2007年9月～12月8日までに再来院された2,041人と未来院のため郵送で回答していただいた369人(合計2,410人)を対象にした分析と考察です。

## どうして QOL に着目したか

むし歯で痛んだ歯を削って詰める治療、歯冠崩壊した歯を抜歯しての補綴。こういった、数回の治療で疼痛が消失したり、明らかに審美性や咬合機能が回復したり、DMF 歯数のような、だれが測っても一致する数字で評価したりできる治療の機会は近年減ってきました。

ポケットの深さ、唾液中の菌数、病原菌に対する血清抗体値。こういった指標が、これからの歯科治療の中での重みを増してくるかもしれません。でも、これらの指標が良好な患者さんが、現時点でも、そして将来にわたって、喪失歯数が少なく、歯槽骨の吸収が少なく、よく噛める、といったことが確かであるという根拠はあるのでしょうか? 歯の喪失は成人においては比較のまれな、たいていの人には数年に1回程度しか起きない出来事で、どんな指標が悪いと歯を喪失しやすいか、確かな指標を見つけることはなかなか困難です(図1)。

唾液中のミュータンス菌を劇的に減らすことが示されていた Chlorzoin® というクロルヘキシジン含有のパーニッシュが、残念ながら実際の臨床ではう蝕ハイリスクの子供たちのう蝕を減らさなかったという報告もあります\*1。現在の歯科医療で使われている指標のうち、どんな指標が患者さんの健康や幸せに直接つながっていると確信できるのでしょうか?

専門化・細分化された指標は、患者さんが「ああ健康だ!」とはっきり認知できるような数字にはなかなかなるものではあ

りません。歯科医療に分析科学的な側面を追求しすぎると、「ポケットはなくなったけれども、抜歯を余儀なくされた」というような治療が推奨されるようになるかもしれません。

科学の粋を集めた検査値重視の治療で見失いがちな「医療は健康を訴求するもの」というあたりまえのことを思い出させてくれたのが、QOL という考え方です。患者が肉体的にも精神的にも健康であると自覚しており、患者さんごとに健康観や好み異なるかもしれない、そんなところまでを測定しようとする指標が QOL 指標の測定対象とするものです。

患者さんの健康・幸せ・快適さといったものを、数値化した指標で表そうとした QOL 指標がいくつか提唱されています。そのなかでも比較的簡便で、日本語の翻訳版があり、妥当性が検証されて日本人の標準値が測定されている、全身の QOL を測定するための指標である SF-8\*2 (図2) と、口腔の QOL を測定するための指標である GOHAI (General Oral Health Assessment Index)\*3 は、研究のために質問票と採点方法が公開されています。これらの指標を用いて、口腔の状態、歯科医院における介入、患者さんの受診パターンなどと QOL の関わりを探るために、日本ヘルスケア歯科研究会の協力病院の先生・スタッフ方々の協力のもとに進めているのが現在実施している QOL 関連の研究です。

## 口腔の状態と全身の QOL には関連があったか?

第一段階の調査研究(ベースライン調査)として、全国の診療施設26施設の協力のもとに、平成18年8月から9月の間に

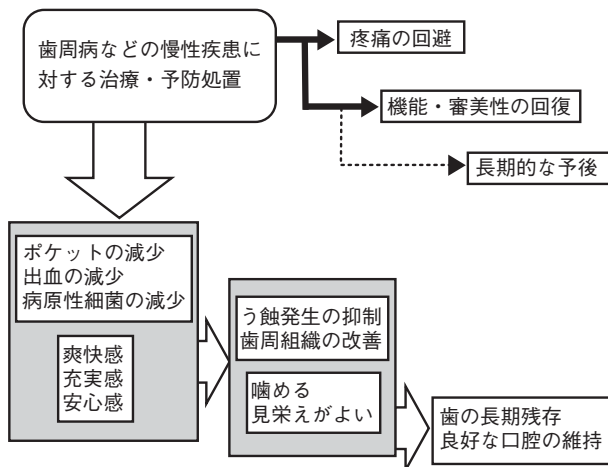


図1

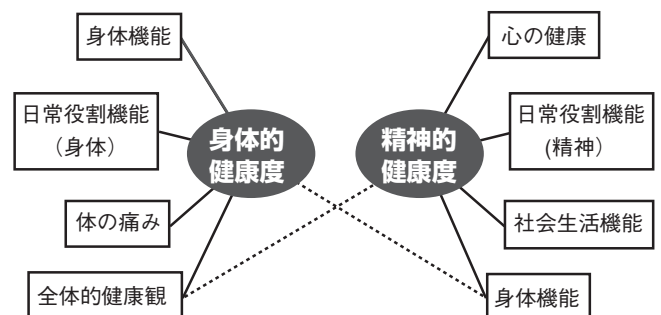


図2 SF-8の原型となったSF-36の因子構造

来院した40歳以上の受診者について、質問紙によるQOL指標の調査とカルテからの口腔指標の情報採取をお願いしました。調査期間中には4,317名が来院され、このうち3,378名が調査参加に同意し、全身のQOL (SF-8) と口腔のQOL (GOHAI) に加え、DMFT、歯周病関連指標、アイヒナー分類 (咬合負担域の残存程度)、受診回数などの情報が得られました。

このベースライン調査の結果では、残存歯数やアイヒナー分類は、口腔のQOLだけでなく、全身のQOLとも関わり合いがあることが示され (図3)、その詳細は現在、国際誌に投稿しているところです。また、メンテナンス患者だけを対象に分析してみたところ、口腔のQOLと抑うつ指標とが比較的高い関連を示しており、精神的な不調が口腔の不調と密接に関わり合っている可能性などが分かってきました。

### 続けて来院している患者さんはQOLが高くなるか？

口腔の健康と全身の健康が密接に関わり合う可能性は、先のような断面調査でも分かってきましたが、断面調査では両者の時間的な前後関係、口腔の健康が全身の健康に影響を与えるのか、その逆もあるのか、ということにはなりません。そこで、ベースライン調査から1年経過した時点で、再調査を実施しました。今回はおもに、治療を継続している患者と治療を中断した者との間に、QOL指標などに差異が認められるかどうかを解析し、また治療中断に至る患者の背景因子の探索を行うことを目的とした調査としました。

再び全国26か所の協力施設をお願いし、平成19年9月から12月にかけて、ベースライン調査に参加していただいた患者さんが来院されたときに質問票調査と診療記録からのデータ収集を実施していただき、さらに、この期間に来院されなかったり、治療を中断されている患者さんに対しては郵送法によって質問票調査を行い、治療を継続されている患者さんと中断者との間の各種指標の差を調べてみました (図4)。

現在、この結果は細部の解析を進めているところですが、まず、中断する患者さんには若年者や比較的残存歯数の多い方が多いことが分かりました (図5)。また、治療を継続している患

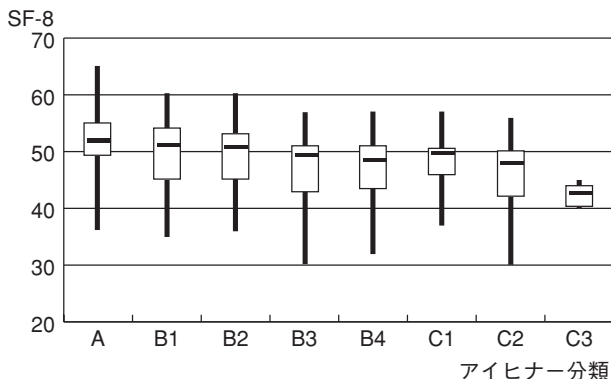


図3 SF-8 (身体的サマリースコア) とアイヒナー分類の関係  
ボックスの中の線は中央値、上下端は四分位を示し、バーの上下端は10%位、90%位を示す。

者さんと中断したものを比較すると、継続している患者さんはベースライン時点でのQOL指標は高いものの、1年後の追跡では低くなっていることが分かりました。反対に、治療を中断した患者さんには、QOL指標が改善している人が継続受診者よりも多かったのです (図6)。このようなことが生じた理由は、口腔の状態が改善して調子が良くなったために治療を中断してしまったかもしれませんし、あるいはメンテナンス患者さんで再発リスクの低い患者さんはリコール間隔が長いので、追跡期間中に調査対象から漏れてしまったためにこういう結果になったかもしれません。今後さらに、詳細を分析していくつもりです。

### 今後のQOL研究の方向性

追跡結果の一部は、平成20年10月26日に三重県四日市市で行われる日本歯周病学会で日本ヘルスケア歯科研究会との共同研究として発表させていただきます\*4。今回の発表には、協力病院のうち13名の方に共同研究者として名前を連ねていただいております。また、学会発表に含まれない部分につきましても、詳細の解析を進めて、論文として残すよう検討しております。

1年後の追跡結果では、脱落者のうちで追跡できたのは30%程度ですので、とくに脱落者の追跡データに関してはあまり精度の高いものではありませんが、脱落者の方がQOLの改善していた者が多かったことは意外な結果でした。原因は先に挙げたようにいくつか考えられるのですが、さらに考えられるのは、歯科的な介入が本当に効果を出すには、1年の追跡では充分ではないのではないかという理由も挙げられます。このため、ベースライン調査から3年目を目途として再度の追跡調査を行い、追跡期間中に各種評価がどのように変化したかを再度検討していきたいと考えております。

今後とも皆様のご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。

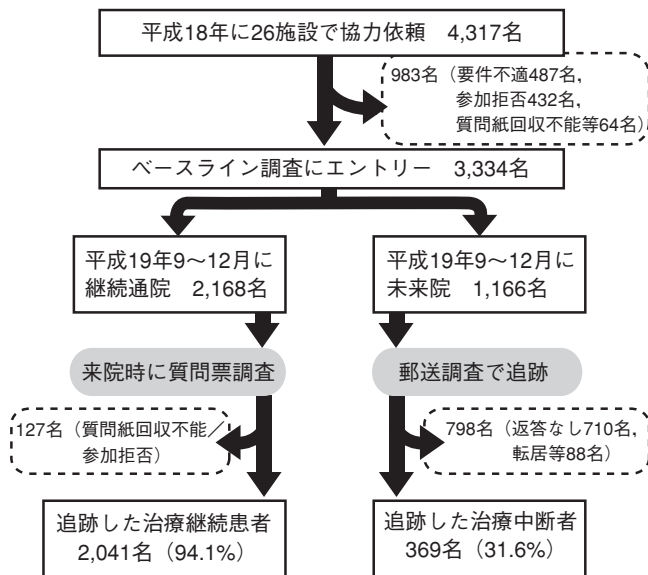


図4

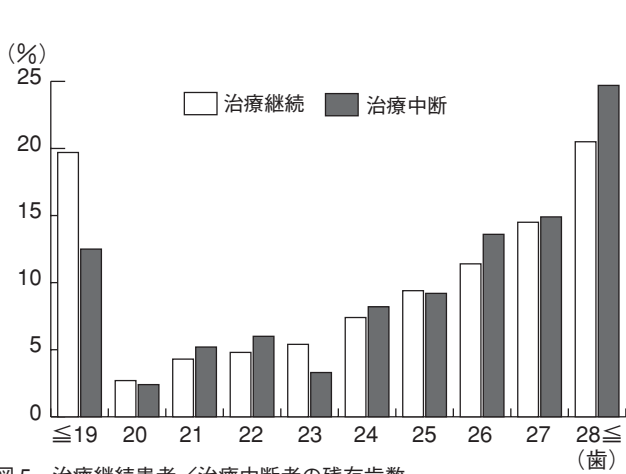


図5 治療継続患者／治療中断者の残存歯数

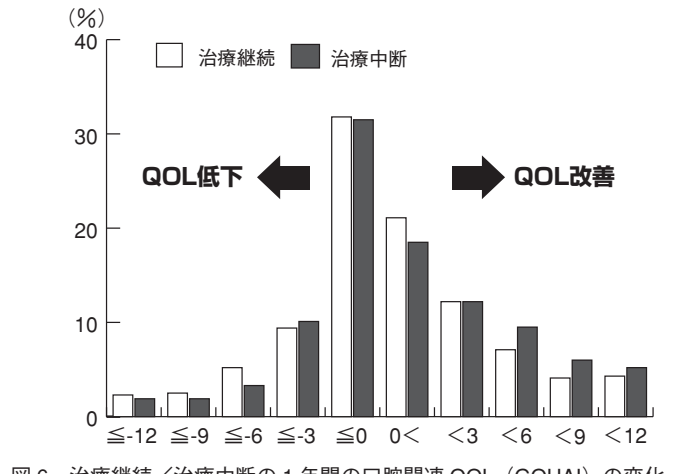


図6 治療継続／治療中断の1年間の口腔関連QOL (GOHAI) の変化

【参考文献と解説】

1. Forgie AH, Paterson M, Pine CM, Pitts NB, Nugent ZJ. A randomised controlled trial of the caries-preventive efficacy of a chlorhexidine-containing varnish in high-caries-risk adolescents. *Caries Res.* 2000 Sep-Oct; 34(5): 432-9.

論文と背景の解説：う蝕予防のための徐放性のクロロヘキシジンバーニッシュとして開発された Chlorzoin®。トロント大学の Sandham らの基礎実験では劇的なミュータンス菌減少効果を示しており、ハイリスクの若年者のランダム化比較試験が計画された (Tayside クロロヘキシジン 歯科研究)。スコットランド・Tayside 地区の 30 の中学校から 11 ~ 13 歳の 1,240 名のう蝕ハイリスクの子供をリクルートした (平均 4.11 D<sub>3</sub>MFS)。ハイリスクの基準は、過去にう蝕の経験があり、Cariescreen 検査でレベル 3 以上 (S mutans 10 万 cfu/ml 以上) とした。観察のみ、口腔清掃指導のみ、プラセボ、Chlorzoin 塗布の 4 群に分け、毎年一回、一人の検査者が観察を続けた。3 年経過時点では、う蝕の増加 (D<sub>3</sub>MFS 増加) について 4 群間に差は見られず、Chlorzoin® によるう蝕予防効果は認められなかった。ただし、プラセボ群と Chlorzoin® 塗布群とについて、いずれも定期検査を欠かさず受診した者については、定期検査を途中で受診しなかった者に比べて、う蝕の増加が有意に少ないことが示された。結局のところ、プラセボと Chlorzoin® にはう蝕抑制には差は認められず、歯科医師の言うことを聞いてきちんと定期検査を受診した子供のみがう蝕が少ないという結果を示したに過ぎなかった。この研究は、Chlorzoin® の発売元のカナダの Orallife 社の資金援助で行われたにも関わらず、こんなネガティブな結果になり、Orallife 社は Chlorzoin® の販売を中止してしまった。

2. 福原俊一, 鈴鴨よしみ：健康関連 QOL 尺度—SF-8 と SF-36. *医学のあゆみ* 213(2); 133-136, 2005.  
SF-8 とは、QOL 調査票として世界中で最も普及している SF-36 の短縮版。京都大の福原らにより日本語版が作られ、妥当性の検証と、日本人の標準値の決定までなされている。わずか 8 項目で、計量心理学的に十分な特性を示す QOL 評価が可能とされている。一般の集団でも、特定の病気を有する集団でも、QOL の測定に広く用いられている。身体的サマリースコアと精神的サマリースコアのいずれも、2002 年の日本一般住民の平均が 50 点になるように調整されている。iHope International (健康医療評価研究機構, <http://www.i-hope.jp>) が SF-8 の使用登録や著作権管理を行っている。
3. Naito M, Suzukamo Y, Nakayama T, Hamajima N, Fukuhara S. Linguistic Adaptation and Validation of the General Oral Health Assessment Index (GOHAI) in an Elderly Japanese Population. *Journal of Public Health Dentistry* 66(4); 273-275, 2006.

GOHAI (General Oral Health Assessment Index) は、口腔関連 QOL 尺度として広く用いられている調査票。名古屋大の内藤らにより、日本語翻訳版、妥当性検証、日本人の標準値決定がなされている。12 項目と、比較的少ない質問数で測定される。60 点が最高点で、QOL が低下するとスコアが低下する。GOHAI も iHope International が管理を行っている。

4. 杉山精一, 内藤 徹, 千ヶ崎乙文, 藤木省三, 福田健二, 加藤 徹, 国井一好, 森谷良行, 征矢 亘, 鈴木正臣, 田中正大, 寺田昌平, 安田直美, 山口将日, 米田雅裕, 鈴木奈央, 廣藤卓雄. 歯科患者における受診パターンが QOL 指標に与える影響, 第 51 回日本歯周病学会秋季学術大会, 四日市市, 2008 年 10 月 19 日。(発表予定)

日本ヘルスケア歯科研究会の協力病院で集めていただいたベースラインデータと追跡データを解析して、継続受診者と中断者との特性を比較した内容で発表を行います。共同研究者として、研究会から 13 名の方の名前を頂戴しております。学会の詳細は HP (<http://perio.dent.aichi-gakuin.ac.jp/JSP-51f/>) でご覧いただけます。当日時間の都合のつく方は、10 月 19 日にはぜひ四日市市にお集まりください。データ内容や解析についてご意見をいただきましたらありがたく思います。



2008年11月23(日・祝)・24日(振替休日)

会場：川口市民ホール フレンディア (東京駅から京浜東北線 28分)

**Program 1**

12:00 ~ 13:40

ルーム C・D

息の長いチームをつくるために、何が必要か？

企画責任者：藪下雅樹

司会進行：井上 和 (歯科衛生士 フリーランス)

藤本美香 (ワイエイデンタルクリニック 歯科衛生士)

**要事前登録**

定員 300名



女性が、結婚、出産、子育てを乗り越えて、長期間にわたり一つの診療所に勤務し続けること、それは長期間にわたり同じ患者さんの健康維持をサポートしていくことができる、ということでもある....



「やらせてもらうわ、私は一生仕事するのよ、文句ある？」

田村 恵 (河野歯科 歯科衛生士)

今や女も一生働く時代です！ 子供ができれば歯科衛生士を辞める？ 子供ができたからってこんな楽しい仕事辞めちゃうんですか？ 育児しながら働き続けていると、患者さんとの話の幅が広がって、味のある歯科衛生士になりますよ～。



「仕事と育児～なるようにしかなりません。あせらないで！」

高須純子 (杉山歯科 歯科衛生士)

「今、仕事楽しい！ やりがいもある！ ずっと続けたい！ だけど結婚や妊娠したら、仕事はどうしよう？」 そんなふうに考えてるアナタ！

大丈夫です♥ 仕事に対する情熱があれば、きっといろんなことも乗り越えられます。

11 / 23  
(日・祝)

タイムテーブル

	12:00～13:40	13:50～15:30	16:00～17:30
	<p><b>Program 1</b> 息の長いチームをつくるために、何が必要か</p> <p>「やらせてもらうわ、私は一生仕事するのよ、文句ある？」 田村 恵 (河野歯科医院)</p> <p>「仕事と育児～なるようにしかなりません。あせらないで！」 高須純子 (杉山歯科医院)</p> <p>発表とディスカッションを行いません 事前登録が必要です 要事前登録 定員 300名</p> <p>スタッフ向け 研修</p>	<p><b>Program 4</b> スタッフミーティング コ・デンタルスタッフとしての日常臨床への関わり方</p> <p>藪下タミエ (まさき歯科医院) 竹本早織 (つだ歯科)</p> <p>発表とディスカッションを行いません 事前登録が必要です 要事前登録 定員 300名</p> <p>スタッフ向け 研修</p>	<p><b>Program 7</b> ワークショップ</p> <p>少人数グループに分かれて、ヘルスケア診療構築についてディスカッションをする。</p> <p>色々な考え方や解決法があることを気づくことができる。</p> <p>グループを地域別にして、地域でのネットワークづくりのきっかけとする。</p> <p>楽しく盛り上がるワークショップを行う。</p>
	<p><b>Program 3</b> ヘルスケア診療所づくり 奮闘記 Part 1</p> <p>上田康弘 (さくら歯科医院) 野村英孝 (あすなろ歯科)</p> <p>診療所づくり 実践例</p>	<p><b>Program 6</b> ヘルスケア診療所づくり 奮闘記 Part 2</p> <p>大久保 篤 (おおくほ歯科) 高橋 啓 (たかはし歯科)</p> <p>診療所づくり 実践例</p>	<p>休憩</p>
	<p><b>Program 2</b> ヘルスケア歯科診療とは</p> <p>藤本省三 (大西歯科)</p> <p>ペリオドントロジー&amp;カリオロジーの基礎知識を含む (新人スタッフ向け)</p> <p>スタッフ向け 教育</p>	<p><b>Program 5</b> 自費のメンテナンスを考える。</p> <p>河野正清 (河野歯科医院) 井上恭子 (河野歯科医院) 長山和枝 (わたなべ歯科)</p> <p>歯科医師 向け</p>	<p>全体 プログラム</p>

ヘルスケアミーティング 2008

**Program 2**  
12:00 ~ 13:40  
ルーム A

ヘルスケア歯科診療とは

「私たちの思いを患者さんにどのように伝えるのか」

企画責任者；藤木省三  
藤木省三（大西歯科）



「院長、ヘルスケア歯科診療って何ですか？」とスタッフから聞かれたらどのように答えますか？ いざ始めてみると、今度は「院長、患者さんに言ってもわかってもらえないんです。やる気なくしちゃいました」とスタッフからまたまた不満が…。さて、どうしましょうか。頭ではこんなによいことと思っけていても、実際に始めてみると自分たちの思いが伝わりません。

**Program 3**  
12:00 ~ 13:40  
ルーム B

ヘルスケア診療所づくり奮闘記 Part1

企画責任者；渡辺 勝  
司会；渡辺 勝（わたなべ歯科）



「仲間が大切！ヘルスケアへの道」

上田康弘（さくら歯科医院）

スーパードクターではない先生に贈る奮闘記です。さくら歯科医院も、まだまだ道半ばです。どうでしょうか？ どうしたらいいの？ と思う先生がいれば、一緒に悩み、考えていきたいと思ひます。



「あすなる歯科のスタッフは…」

野村英孝（あすなる歯科）

「3年経ったら辞めよう。みんなの前では泣けなから、車の中で泣きながら帰った…」  
スタッフがそんな気持ちで働いていて、どうして成功できるでしょう？

11/24  
(振替休日)

タイムテーブル

	10:00~11:30	13:00~16:00	16:00~16:30
ルーム C・D	<p><b>Program 10</b> ワンポイントレッスン会場</p> <p>口腔内写真撮影 デジタルカメラの選択法 受付での電話対応 唾液検査結果の活用 O.H.I.Sの活用 禁煙支援 ウイステリア使用法と活用 検査導入のしかた タイプ別コミュニケーション</p> <p>スタッフ向け教育</p>	<p><b>Program 11</b> ヘルスケア診療におけるスタッフの役割、 院内での人間関係</p> <p>岩淵龍正 (経営戦略研究所株式会社 代表取締役)</p> <p>昼食</p> <p>スタッフ向け研修</p>	
ルーム B	<p><b>Program 8</b> 認証への道</p> <p>山口将日 (山口歯科医院) 浦崎裕之 (浦崎歯科医院)</p> <p>診療所づくり実践例</p>		
ルーム A	<p><b>Program 9</b> シャープニング講習会</p> <p>風見健一 (株式会社シャープニング CEO)</p> <p>事前登録が必要です 要 事前登録 定員60名</p> <p>スタッフ向け研修</p>	<p><b>Program 12</b> ヘルスケア診療所づくり 「知っている」を「やっている」に</p> <p>千田利幸 (Boost Dream Consulting オフィス T.S 代表)</p> <p>診療所づくり実践例</p>	<p><b>Program 13</b> ヘルスケア診療所づくり フォローアッププログラム</p> <p>田中正大</p> <p>全体プログラム</p>

11月23日

ヘルスケアミーティング 2008

**Program 4**

13:50 ~ 15:30

ルーム C・D

**スタッフミーティング**

チーム医療を考える コ・デンタルスタッフとしての日常臨床への関わり方

司会進行；井上 和 落合真理子（もりや歯科）

企画責任者；藪下雅樹

**要事前登録**

定員 300 名



受付、助手、新人を対象にしたプログラム。チームとしてヘルスケア型歯科医療を展開して行くうえで、歯科医師、歯科衛生士等の専門職とどのように協力し、助け合っていけば良いのか？



**「キラキラ輝く笑顔のために」**

藪下タミエ（まさき歯科医院 受付）

キラキラ輝いた笑顔で患者様をお迎えし、仲間と素晴らしい毎日を過ごしたい！辛いことも、苦しいことも、困ったことも、わからないことも怖くない！失敗だって怖くない！常に前を向いている素敵な仲間と一緒にいたい！そんな中で仕事がしたい！心からの願いです。



**「ますますこれからの受付」**

竹本早織（つだ歯科 受付・助手）

来院者を受容し支援するなかで、反対に医院側が気づけられ、学び、支援され、支えられる中で歯科医院は地域の資源として、成長するようになります。

来院者という地域の代表と医院の協働する部分を、皆さんと考えてみたいと思います。



**Program 5**

13:50 ~ 15:30

ルーム A

**自費のメンテナンスを考える。**

河野正清（河野歯科医院） 井上恭子（河野歯科医院） 長山和枝（わたなべ歯科）

企画責任者；河野正清

司会；秋元秀俊



私たちは、メンテナンスこそが歯科医療の大前提であり、土台であると考えています。ところが現実には、「自費でメンテナンスなんてできっこない」、かと言って「健康な人のケアを保険でするのはどうも…」という割り切れない思いを抱いています。「保険か、自費か」そんなことはどうでもいいのです。しかし、患者さんとの長い信頼関係が、いつ崩れるか分からないグレーの制度に依存していることは、心配です。



**Program 6**

13:50 ~ 15:30

ルーム B

**ヘルスケア診療所づくり奮闘記 Part2**

企画責任者；渡辺 勝

司会；渡辺 勝



**患者さんと一生つき合える歯科診療所を目指して——おおくぼ歯科の迷走4年**

大久保篤（おおくぼ歯科）

患者主体の歯科診療を考えた場合、現在の保険制度の下で、それを実行していくのは、とても困難と思われるかもしれません。しかし、患者主体の診療を継続していくことは、歯科医師自身やスタッフにも仕事のやりがいと未来への希望を与えることとなり、患者と診療所の双方にとって明るい未来が開けると思います。



**関西ヘルスケア談話会で学んだ診療所づくり**

高橋 啓（たかはし歯科）

数年前に“予防をベースにおいた診療室を作りたい”と思っても、何からやればいいのかわかりませんでした。私の場合、予防中心の診療所づくりを進めていくうえで、すでに実践している診療所のアドバイスがとても参考になりました。

11月23日

ヘルスケアミーティング 2008

**Program 7**  
16:00 ~ 17:30

## ワークショップ

企画責任者；井上 和  
司会進行；井上 和 細谷優香（武内歯科医院）

もっと医院を良くしたい、もっと患者さんを笑顔にしたい、もっと自分を成長させたいと思いますよね。もっと楽になりたいなんて思う日もある。さあどうしましょう。一番早いのは「うまくいっている人に聞く」です。

千載一遇のチャンスは11月23日16時到来。

わくわく元気になります、うれしくなります、喜ぶ顔が見られます、明日からの仕事が楽しみになります、誰かに教えてあげたくくなります……いえ絶対教えます。

☆グループごとに懇親会に移行する予定です。できるだけ夜の時間をあけてご参加ください。



11月24日

ヘルスケアミーティング 2008

**Program 8**  
10:00 ~ 11:30  
ルーム B

## 認証への道

企画責任者；斉藤 仁



山口将日（山口歯科医院・行方市）

私は、第一回の認証ミーティングに参加し、口腔内写真の質が悪く、不合格となり（不合格第1号でした）、2006年4月に再度受験し、認証をいただいた山口将日です。

浦崎裕之（浦崎歯科医院・金沢市）

開業して18年になります。2007年2月に認証診療所に認定されました。

今の浦崎歯科医院はウイステリアひとつとっても、日本ヘルスケア歯科研究会の存在がなければあり得ません。

**Program 9**  
10:00 ~ 11:30  
ルーム A

## シャープニング講習会

企画責任者；河野正清

風見健一（株式会社シャープニング CEO）  
アシスタント：井上 和（フリーランス） 田村 恵（河野歯科医院）  
長山和枝（わたなべ歯科） 府川美佐子（鈴木歯科）  
北原あゆみ（まさき歯科） 蓮見 愛（杉山歯科）  
落合真理子（もりや歯科）

歯科衛生士のシャープニング技術の習得は、歯周治療のできる診療所づくりの基礎の基礎。しかも講習を受ければ、だれでも確実にレベルアップします。

要事前登録

定員 60名



11月24日

ヘルスケアミーティング 2008

## Program 10

10:00 ~ 11:30

ルーム C・D

## ワンポイントレッスン会場

企画責任者；田中正大



## 口腔内写真撮影

川嶋紀子（河野歯科医院） 浜端町子（丸山歯科医院） 山口志穂（笠島歯科医院）

楽に、速く、しかも上手に撮れる、ちょっとしたコツを伝授します。



## デジタルカメラの選択法

成田信一（自由が丘矯正歯科クリニック） 杉山精一（杉山歯科医院）

ヘルスケア臨床に必須の口腔内撮影カメラ、はじめてなんだけどどの機種にしたらいいか、もっと使い勝手のいい機種はないか、もう1台リーズナブルな機種が欲しい、などと考えている方のために企画しました。



## 受付での電話対応

山見理恵（河野歯科医院）

『電話に出た人は、その医院の声の代表です』河野歯科医院に勤務当初受講させていただいた電話対応セミナーで印象的だった一節です。あれから八年… このフレーズは受付としての大切な心構えとして、いつも私の心に響いています。



## 唾液検査結果の活用、O.H.I.S.の活用

藤本美香（ワイエイデンタルクリニック）

唾液検査結果の説明をするにあたりどのような工夫をしているか、歯周病検査の結果の推移説明についてはO.H.I.S.を用いる方法を紹介します。



## 禁煙支援

高木景子（たかぎ歯科医院） 渡辺 勝（わたなべ歯科）ほか禁煙支援部会

タバコは歯周病の一番のリスクファクター。そう、禁煙支援は歯周治療の成功には不可欠なツールです。でも… なかなか禁煙支援が成功しない。そんな経験はありませんか？



## ウイステリア使用法と活用

藤木省三（大西歯科医院）

ウイステリアとアポイント管理職を組み合わせると3回クリックするだけで目的の写真を表示できます。術前術後の比較も極めて簡単です。ヘルスケア的診療を実践している中から生まれた専用ソフトだからできることだと思います。ウイステリアとアポイント管理職の組み合わせで、別世界を体験してみませんか？



## 検査導入のしかた

斉藤 仁（さいとう歯科室）

カリエスリスク検査と歯周病精密検査をルーティンに行うことは患者さんのお口の健康を維持していくうえで必要不可欠なことです。「わかっているけど…」「実際にやってはみたけどなかなか続かなくて…」すでに日常診療の一部になっている医院では当たり前のことでも、まだ始めていない医院にとってはその導入は難しいことのように感じられると思います。ここで足踏みしている医院が実は意外と多いのではないのでしょうか。どこの医院でも簡単に、この壁を乗り越えられる方法を伝授します。



## タイプ別コミュニケーション

阿部 恵 (しんろう歯科医院)



こちらの問いかけに対して、言葉少なく不機嫌そうな、おじさんや、限られたケアタイムの中にあって、自分の話したいことを繰り返してしゃべり続けて止まらないおばさん… 「どうして？ 私には理解できない！」… このような問題を解決に導くひとつのヒントがあります。

### Program 11

13:00 ~ 16:00

ルーム B・C・D

## ヘルスケア診療におけるスタッフの役割、院内での人間関係

企画責任者；成田信一

岩淵龍正 (経営戦略研究所株式会社 代表取締役)

歯科医院に対する経営コンサルティング業務を行うと共に、歯科医院地域一番実践会を主宰。



年齢不詳、  
横須賀生まれ。  
イラスト：ホームページより



### Program 12

13:00 ~ 16:00

ルーム A

## ヘルスケア診療所づくり

「知っている」を「やっている」に

企画責任者；渡辺 勝

千田利幸 (ブースト・ドリーム・コンサルティング「オフィスT.S」代表)

「歯科医院と患者さんの架け橋」コミュニケーションツール「DentalX」の全国展開に営業部長として参画。その活動の中で、歯科医院を元気にすると言われるセミナーを年間100回開催し、講師として活躍する。

2008年4月「ブースト・ドリーム・コンサルティング」を設立。クライアントと「共に成長する」をモットーに「同じ目線」に立ってモチベーションを上げながら、問題点を解決していくコンサルティングをスタート。

また、「日本中を元気にしたい」とコーチ、カウンセラーとしても活躍中。

「どんな仕事も楽しくなる3つの物語」著者

**推薦** 福島正伸氏 (株式会社アントレプレナーセンター 代表取締役)

千田さんを一言で表現するとすれば、そこにいるだけで、まわり中の人の心の中に火をつけてくれる人です。大変な苦勞をしてきたにもかかわらず、それらの体験をすべて自分の糧にして、他人のために役立つことに生きがいを感じています。次代のリーダーの一人であると確信しています。



### Program 13

16:00 ~ 16:30

ルーム A

## ヘルスケア診療所づくり

フォローアッププログラム

企画責任者；田中正大

田中正大 (田中歯科クリニック)

参加者みんなと一緒に行動し、ステップアップしていけるようにフォローしていくためのプログラムです。シンポジウムの最後で詳細について説明し参加者を募ります。



## ポスター発表大募集!

11月23・24日 エントランスロビーにて展示・発表

### ポスターテーマ「患者さんへの情報提供」

担当責任者：杉山精一

待合室での掲示、健康ノートの活用、医院独自の来院者向け新聞やパンフレット、さらにホームページでの情報提供などなど。各医院で工夫している事例をポスターで発表してください。診療室でまとめて発表作業を手がけるとグリーンと診療室がレベルアップします。さあ、挑戦してみてください。

会場：エントランスロビー

発表者：会員有志（個人、診療所単位、グループ可）

発表者（正会員）には2ヘルス（研究会内通貨）付与します。

形式：ポスター発表

展示スペース：幅90cm×高さ120cmまで

大判のプリントで仕上げるときれいですが、模造紙に手書きでも、内容が独創的であれば十分です。

写真が必要な場合は、A4～A5程度のプリントを模造紙に貼ってください。

A3までのプリントは事務局でサポートします。お問い合わせください。

※ポスターは、1日目開会前から2日目閉会までエントランスのロビーに掲示します。

2日目の12時30分～13時まで発表・質疑の時間を設けます。

※発表お申し込みいただいた方に説明書を送付いたします。まずは、お問い合わせください。

※発表ポスターはニュースレターに掲載します。なお、優秀賞を選考・表彰する予定です。投票締切は2日目13時



第10回ヘルスケアシンポジウム  
ポスターセッションの様子



ヘルスケアミーティング2007  
ポスター発表の様子

参加  
受付中

ポスターの提出締切：11月23日(当日)12時まで

事務局に掲示を依頼する場合は、11月20日(木)必着

事務局にプリント依頼する場合は、11月14日(金)データ必着

## 法人展示 会場ロビーにて 11月23日(12:00～17:30) 24日(10:00～16:30)

展示予定法人会員（五十音順）

ウエルテック株式会社

株式会社ジェニシス

株式会社プラネット

株式会社コムネット

タカラベルモント株式会社

メディア株式会社

サンスター株式会社

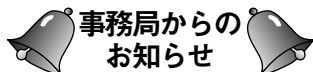
ティーアンドケー株式会社

株式会社モリタ

株式会社ジーシー

株式会社ビジョンクエスト

株式会社ヨシダ



### ●会員登録内容の変更について

住所、電話番号、ファックス番号、e-mail アドレス、準会員等の追加・変更がありましたら、事務局までファックスもしくは e-mail でお知らせください。

Fax: 03-3260-4906

e-mail: center@healthcare.gr.jp

事務局は月曜日から金曜日までの午前9時30分から午後5時30分までスタッフが常駐しています。お電話は時間内をお願いします

現在の会員の構成(9月9日現在) 会員合計 4,537名

正会員		準会員	
歯科医師	1,266名	歯科衛生士	2,648名
歯科衛生士	105名	歯科技工士	88名
歯科技工士	1名	その他	389名
その他	6名	準会員計	3,125名
学生	1名		
法人会員	33社		
正会員計	1,412名	認定歯科衛生士	33名

### ◆新入会法人会員◆ 株式会社ベントサイド

## 会務報告・会務案内



### 第3回 オピニオンメンバー会議報告

開催日：2008年7月13日 午前10時～

場 所：東京歯科大学水道橋校舎会議室内

出席者：オピニオンメンバー 出席者22名、欠席18名 委任状提出者18通

上田康弘, 井上 和 (途中参加), 檜崎慶二, 大久保 篤, 太田隆温, 岡本昌樹, 小野義晃, 川嶋剛, 菊地誠, 国井一好, 進 健修, 鈴木正臣, 高木景子, 田村 恵, 中川正男, 長山和枝, 浪越建男, 丸山和久, 丸山吉弘, 米山吉洋, 渡邊征男, 渡辺 勝

コアメンバー8名

足本 敦, 伊藤 中, 河野正清, 斉藤 仁, 杉山精一, 田中正大, 成田信一, 藤木省三

事務局：秋元秀俊

第4回オピニオンメンバー会議は、7月13日、太田隆温さんを議長に選出し、書記を渡辺 勝さんに依頼して開催されました。議論について詳しくは議事録をご参照ください。ここでは、決定事項のみをご報告します。議事録はホームページで会員に公開します(9月末予定)。

#### 【議案】

- 第1号 平成19年度事業報告
- 第2号 平成19年度決算報告
- 第3号 研究会財政の健全化計画
- 第4号 平成20年度事業計画と骨太の方針
- 第5号 役員改選

#### 議案第1号 平成19年度事業報告

- 1) コアメンバー会議  
2007年1月21日, 4月15日, 7月16日, 9月9日, 12月16日, (2008年2月17日, 4月20日, 6月1日)
- 2) ニュースレターの定期刊行 (偶数月6回)
- 3) 2007年度会誌発行  
発行の遅れ, 2008年4月28日
- 4) ワンデーセミナー  
広島(3月11日), 名古屋(7月8日), 札幌(5月20日) (2008年大阪; 6月15日, 福岡; 6月29日)
- 5) 歯科衛生士法の改正を求める大臣陳情署名  
6月4日 48,588筆
- 6) 患者さんへのデータフィードバック POEM  
No.1 (2月28日), No.2 (8月31日)
- 7) 歯科衛生士育成コース  
基礎コース7月15,16日, 10月7,8日, 11月3,4日  
検定コース9月16,17日
- 8) ヘルスケアミーティング2007 11月10,11日
- 9) 入会の勧め (パンフレット) のリニューアル  
企画頒布品パンフレットのリニューアル
- 10) ホームページのリニューアルと携帯サイトの開設

#### 平成20年度事業計画に関する報告

- 1) Doプロジェクトの状況について (杉山)
- 2) 歯科衛生士育成コースについて (河野)
- 3) 2008年の秋のヘルスケアミーティングについて (河野)
- 4) ワンデーセミナーの状況と今後の計画 (藤木)

**議案第 5 号 役員改選（前倒しで議事進行）**

オピニオンメンバーの投票により、藤木省三さんが再び会長に選出された。

投票結果；投票総数 25 票。藤木省三 20 票，足本敦 5 票

監事については、連記式で投票が行われ、森谷良行さんと鈴木正臣さんが選出されました。

投票結果；投票総数 25 票。森谷良行 23，鈴木正臣 17，太田隆温 2，進 健修 2，藪下雅樹 1，渡邊征男 1

**議案第 2 号 平成 19 年度決算報告**

ニュースレター vol.11no.2 15 ～ 16 ページに決算書および監査報告を掲載しています（略）。

なお、監事の田中正大さんが、コアメンバーとなったため、仮に森谷良行さんが鈴木正臣監事を補佐して、前期決算の監査を行いました。

**議案第 3 号 研究会財政の健全化計画（秋元）**

健全化計画の＜二本の柱＞

A 経常経費の大胆な圧縮

B 会員外企画頒布品販売の事業化

事務局の担い手である秋編集事務所のサポート強化によって経常経費の大胆な圧縮を行う。これを可能にするため、会員外企画頒布品販売を事業化する。

A 経常経費の大胆な圧縮（前年比 17.8 %）

・事務局人件費の圧縮（△ 180 万円）

かねて事務局人件費の圧縮（2007 年度は前年比 96%）の努力を重ねてきましたが、事務局員 1 名体制として、秋編集事務所のスタッフが全員で臨機応変にサポートする態勢に変更します。

・ニュースレター前年比 15 % 圧縮（△ 36 万円）

ニュースレターについても経費圧縮（2007 年度は前年比 68 %）の工夫を続けてきましたが、寄せられた原稿をすべて掲載する結果、しばしば予定ページ（16 ページ）を大きく超えることがありました。今後、予定ページ数で処理し、これにより 15 % の経費を圧縮します。

・会誌制作費前年比 22 %（△ 51.2 万円）

今年度発行会誌 = 2007 年号（2008 年 4 月刊）をページ減により、前年比 22 % 圧縮しています。

B 企画頒布品の会員外販売により収益増を目指す

新入会員の減少に伴い、企画頒布品の販売で実質的に事務局運営費を捻出できなくなっていますので、会員外販売を始めます。ただし、会員外販売については開発者に著作権料を支払います。また開発経費、広告宣伝経費、アフターケア業務および在庫リスクが発生します。その相当部分は事務局の担い手である秋編集事務所で負担します。ただし、会員外頒布品について研究会への納入価格を引き上げます。企画頒布品の販売実績は年々激減していますので、実質的な収益増とはなりません。担い手である秋編集事務所の収益（リスク）可能性を拡大することによって「A 経常経費の大胆な圧縮」を可能にする方策です。

会員外企画頒布品の例；

ウイステリア・ランタイム版、健康手帳など、その他新たな患者向けソフト開発をします。

**議案第 4 号 平成 20 年度事業計画と骨太の方針**

オピニオンメンバーからいくつか意見が出され、オピニオンメンバーがそれぞれ何らかの委員会に所属して活動することが提案され、必要な委員会および所属希望委員会を申告しました。

**コアメンバー会議 予定****9 月のコアメンバー会議**

日 時：2008 年 9 月 28 日（日）  
午前 10 時～午後 1 時 30 分  
会 場：東京八重洲ホール 会議室 412  
（東京駅・八重洲口徒歩 2 分）  
<http://www.yaesuhall.co.jp/map.htm>

※会員の傍聴は自由です

**第二次 QOL 調査研究報告会**

2008 年 9 月 28 日（日）午後 2 時～4 時  
講 師：内藤 徹（福岡歯科大学）  
東京八重洲ホール 会議室 412

QOL の調査の意義から 1 年目の追跡調査結果などについて内藤先生に「わかりやすく」報告していただきます。報告だけでなく結果について意見交換もしたいと思っておりますので、ご都合のつく方はどうぞご参加ください。

※聴講は無料、会員の参加に制限はありませんが、参加される方は事前にご連絡ください。center@healthcare.gr.jp

# ヘルスケア フォーラム

## ファシリテータトレーニング

2008年6月8日 津田ホール

東京ヘルスケアグループのスタッフミーティングに先立って、井上和さんによるファシリテータトレーニングを6月8日の日曜日、津田ホールにて開催しました。23名の参加者でした。

### ファシリテータトレーニングに参加して

村松康子（うつぎざき歯科医院）

恥ずかしながら、「ファシリテータ＝水先案内人」程度の認識しかなく、ほとんど予備知識がないままの参加でしたが、井上さんの丁寧なご講義で、理解する事ができました。

天声人語のキーワードを抜粋して、模造紙に貼っていく作業も、ファシリテータとして皆の意見をまとめる作業と同じで時間内に、的確に進めないと收拾がつか

なくなるのなあ、と気づきました。

今回勉強させていただいて、「みな自分と同じ価値観ではない」、という当たり前のことすら忘れていた私は、それをしっかりと再認識し、7月のスタッフミーティングに臨まなければ、と強く感じました。

ありがとうございました。



坂本 央（あすなる歯科）

和さんのファシリテータトレーニングは2回目でしたが、今回は自分が本当にファシリテータをするため、去年とはまた違った目線でセミナーを受講していることに気づきました。

和さんのセミナーは、一方的に聞いて

いるのではなく、参加型のセミナーなのでいつも楽しく参加させていただいております。

ファシリテータトレーニングではファシリテータの意味から、社会での使われ方、そして態度・姿勢まで教えてくださったので、心構えは出来そうです。

今回ラッキーなことに私はサポータータイプのSGLでファシリテータの練習をさせていただきました。

フィードバックでは「良かったところ限定」でしたので自信がつけました。

これで「もっとこうしたほうが良いところ」のフィードバックだったら落ち込んでしまいます（笑）。

また、タイプが同じ人の中でのファシリテータだったのでやりやすかったです。ただ、自分でやってみて、もっとみんなが話しやすい雰囲気を作ったほうが良いな、とか書記の人が書けるくらいのスピードで話してもらったほうが良いな、と考えることもできました。そして、私が緊張しているとみんなにもそれが伝わるのがわかりました。

当日は、うまくやることよりも、参加者の方が気持ちよく話せる雰囲気作りを意識してみたいと思います。



## 東京ヘルスケアグループ主催 第4回 スタッフミーティング

2008年7月6日 川口市民ホール フレンドリア

### 参加して

安田直美（松戸市開業）

7月6日（日）、第4回東京ヘルスケアグループ（東京HCG）スタッフミーティングが昨年と同様川口市民ホール・フレンドリアで開催されました。会員のスタッフさんが中心となって作っていくこのミーティングは、今回で4回目。梅雨

のまっただ中にも関わらず、暑いくらいの晴天に恵まれ、汗ふきふき参加者が集まり、それぞれ挨拶を交わし合う参加者は久しぶりの再会に、話が止まらぬようでした。

回数を重ねるごとに参加人数は増え、今回26歯科医院約130名の参加者が集結。

今回のお題は「 」のように何



もなく、ミステリーツアー?? を思わせるようなミステリーミーティングになるようで、当日まで参加者全員いろいろな係りがつき「全員参加型」というヒントだけはありましたが、シークレットの多いミーティングになるとのことで、予想ができず、ワクワクドキドキでした。



4月初めに参加人数の申告の依頼が各歯科医院にメールできて、6月初めに院長の仕事の依頼がき、「やるよ～」の返答がぞくぞく集まり、東京ヘルスケアグループの先生方は嫌がる人は一人もいず、全員参加型のミーティングと提示されているのに、この時点でまだメールの仕事の欄に名前が無いドクターが、自ら仕事を手伝いたいと手を上げてくれたりして、このメールをみているだけで、スタッフさんを大事に考えている先生方の姿勢と、このミーティングにかける意気込みが感じられ“入会してて幸せ”と感じる時でもありました。

私の任命された役は“午前ファシリテーター”。しかし、この役を引き受けたものの、勉強不足なので、井上 和さんのファシリテーターの講義をうけ予習しましたが、内容は明かされず、またドキドキ、、、明かされたのは、当日開演1時間前の9時。主催者のメッセージもいただき、あーっという間に開演時間。

午前の部は、それぞれの職種を理解しよう～互いに見つめ合い、認め合おう～で、スモールグループでのディスカッションを行いました。歯科衛生士に扮した河野正清先生と先生役の落合真理子さんの寸劇は、本当に笑えて、楽しかったです。

私は、受付班のファシリテーターでした。パソコンでスライドを作って発表を

まとめていく作業があり、スライドを作る経験までさせてもらったミーティングは初めてで、約2時間の午前の部があーっという間に終了。私も、受付の方の思い、我慢などたくさん聞け、自分の診療時の姿が思わず重なり、反省することしきりでした。私の班の最後の締は、“診療時に急患がきた時は、困った顔せず、「よっしゃ～」と欲しかった”（開業時の初心がよみがえりました）ファシリテーターの私が一番勉強になりました。

昼食後、うちのスタッフさんのアイスブレイク。参加2回目で、アイスブレイクの担当となった小島さんと今井さん。1ヵ月以上も前から、仕事以外の時間はアイスブレイクの準備で本当に大変そうだったけど、すばらしい盛り上がりとなり、よかった～本当にお疲れさまでした。しかし、このゲームで私は大当たり、「商品」はこの感想文ライターです。

午後の部は勤続7年目の田中歯科医院の安田祥子さん、勤続2年目の宇田川歯科医院の伊藤友美さん、湯浅明子さん、勤続15年目の田村 恵さんの4名の歯科衛生士による発表があり、それぞれの苦悩、やりがい、心の変遷など盛りだくさんな内容で、ディスカッションも盛り上がり、時間が本当に足りなかったと思いました。

宇籾歯科のカリスマ助手島田さんと河野歯科の癒し系歯科衛生士大島さんが中心になって計画されたこのミーティングは、あすなる歯科の野村英孝先生とさくら歯科の上田康弘先生が陰になり日向になって支えられたもので、最後まで感動し、感謝したミーティングでありました。

第5回は田中歯科の田中先生、武内歯

科の細谷優香さん、わたなべ歯科の長山和枝さんと私の4人で主催者となります。「よっしゃ～」で頑張ります。



荒木博子（田中歯科クリニック）

7月6日、第4回東京ヘルスケア・スタッフミーティングが開催されました。

私は、今回で2回目の参加となったのですがこうやって同じ仕事に携わる大勢の人たちが一度に集まり、意見の交換ができるということは、とても素晴らしく貴重な機会だと改めて感じました。

午前の部は、それぞれの職種を理解し、見つめ合い、認め合おうということでスモールグループの中でディスカッションを行いました。

ここでは、それぞれの立場から日頃感じている本音を聞け、今まで気づかなかった問題についても話し合え、解決策を出すことができました。

午後からは、アイスブレイクをはさんで一新したグループで現在、活躍されている4名の歯科衛生士の方々の勤め始めてから、現在に至るまでの苦悩、やりがい、心境の変化等の発表を聞かせていただき、話し合いました。

自分も現在に至るまで、どういう気持ちで勤めてきたか、医院のスタッフとしてどんなサポートができていたか等、改めて振り返ることができ、今後、自分にできること、改善していかなくてはならない問題について考えることができました。

これを機に自分自身、もっと成長し、医院の発展に繋がっていけばいいと思います。意欲がどんどんとわいてきました。



## 事務局からの お知らせ

携帯電話版ホームページ 研究会モバイルサイト オープンしました！



携帯電話で会員用ホームページの「スケジュールカレンダー」「会員談話室」「お知らせ」にアクセス可能になりました（携帯電話の機種によっては、アクセスできない場合があります）。

ヘルスケアミーティングの参加申込みも携帯電話から可能です。ご利用ください。また現行の歯科衛生士向けページとも

リンクしています。

<http://www.healthcare.gr.jp/hc-mobile/hcmobile-index.html>

※ご意見・ご要望などございましたら、事務局までお寄せください。



## 書 評

土屋絃美 (まさき歯科医院・  
歯科衛生士)

### 『歯科衛生士臨床のための Quint Study Club だれでもバッチリ撮れる！ 口腔内写真撮影』



監修；中野予防  
歯科研究会  
著者；  
飯田しのぶ、  
山口志穂  
出版；  
クインテッセ  
ス出版（株）  
定価；3,360  
(税込)

皆さんは口腔内写真をどのように活用  
していますか？

患者さんに今のお口の中の状態を説明  
するときや、術前術後を比べるときな  
ど、口腔内写真はとても重要な資料です

よね。私たちは限られた時間の中でたく  
さんのことをしなくてはなりません。し  
かし、口腔内写真を撮るのは結構時間か  
かると思いませんか？ また、せっかく  
撮ってもピントがあっていなかったり、  
見たいところが撮れていなかったり。上  
手く撮れないと、ただの時間のロスにな  
ってしまいます。そうすると、なかなか  
次も口腔内写真を撮ろうという気持ちに  
はなりませんよね。

この本には皆さんの苦手を解決する方  
法がたくさん書いてあります。

始めは、基本的な撮り方が部位別に詳  
しく書いてあります。術者の位置や患者  
さんの顔の向き、ミラーの挿入方法、口  
角こうの引き方などたくさんの写真と共  
に掲載されているので、これから口腔内  
写真を練習しようとしている新人歯科衛  
生士の皆さんにも最適だと思います。

また、きれいに口腔内写真をとろうと  
すると、撮ることに専念してしまって、  
患者さんのことを忘れがちになってしま  
っていませんか？ いくらきれいな口腔  
内写真を撮っても、患者さんに不快な思  
いをさせてしまっては、台無しですね。

この本には、口腔内写真を撮っている時  
に患者さんがどんなことを思って、感じ  
ているか、術者として患者さんへどのよ  
うな心配りができるか、声のかけ方や、  
そのタイミングなども詳しく載っている  
ところもとても良いと思いました。私は  
ここで、改めて自分の口腔内写真の撮り  
方や、患者さんの気持ちを考え直してみ  
ることができました。

その他にも、「何回練習しても失敗し  
てしまう」という写真から自分の癖を知  
ることで、ステップアップできるような  
項目もあって、自分の苦手もすぐに解決  
することができます。

この本は、写真やイラストが多いの  
で、あっという間に読むことができま  
す。本を読むのが苦手な私でも楽しく読  
むことができました。そして、読み終え  
た時には自分の苦手も克服できて、これ  
から口腔内写真を撮ることが楽しくなる  
はずですよ！ 飯田さん、山口さんのたく  
さんの心配りがなされている本だと思  
いました。ぜひ読んでみてはいかがでしょうか。



## その他催しもの 案内

### 関西ヘルスケア歯科談話会主催 第8回スタッフミーティング

第8回を迎えるスタッフミーティングは、会場を再び千里ライフサイ  
エンスセンターに戻し、関西ヘルスケア歯科談話会の活動を一人  
でも多くの方に聴いてもらおうと思っています。  
今年も関ヘルのスタッフミーティングで元気になってください。

日 時：2008年12月14日(日)  
午前9時受付開始 午前9時30分～午後4時30分頃  
情報交換懇親会：午後5時～午後6時30分頃  
会 場：千里ライフサイエンスセンター(懇親会会場も同)  
大阪府豊中市新千里東町 (<http://www.senrilc.co.jp/>)  
参加費：歯科医師 7,000円  
歯科衛生士、受付など医院スタッフ 5,000円  
懇親会会費：全員共通(立食形式) 5,000円

募集定員：200名(昨年度は、約2週間ほどでキャンセル待ち状  
態となりました)

会員発表：「従来型から予防型へ」を目指してできることから  
はじめてみました。  
いたはし歯科医院 板橋正憲先生、医院スタッフ(阪南市)  
関ヘルあすなる組からの報告～西神戸編～  
丸山歯科医院 丸山和久先生、医院スタッフ(神戸市)  
特別講演：元気な自分への第一歩！～悩みは楽しく解決しよう～  
岩崎小百合先生(加古川市)  
特別企画：関西ヘルスケア歯科談話会役員医院によるポスター  
セッション

参加ご希望の方は、こうじ歯科クリニックまでFAXもしくはe-mail  
でお問い合わせください。申込用紙を送らせていただきます。  
事務局 こうじ歯科クリニック  
FAX：087-847-4874 e-mail：info@kojidental.com

2008年 11月 23日(日)・24日(振替休日)

川口市民ホール フレンディア (埼玉県川口市)

埼玉県川口市川口 1-1-1 キュポ・ラ本館棟 4F 048-227-7603 (<http://www.friendia.jp/index.html>)

## 新発想の診療所モデル

# ヘルスケア歯科診療を極める

### プログラム (予定)

☆印のプログラムには事前登録が必要です

#### 1日目 12:00 ~ 17:30

- ☆プログラム ① 息の長いチームをつくるために、何が必要か?  
「やらせてもらうわ、私は一生仕事するのよ、文句ある?」  
「仕事と育児~なるようにしかありません。あせらないで!」
- プログラム ② ヘルスケア歯科診療とは
- プログラム ③ ヘルスケア診療所づくり Part1
- ☆プログラム ④ スタッフミーティング  
「チーム医療を考える… コ・デンタルスタッフとしての日常臨床への関わり方」
- プログラム ⑤ 自費のメンテナンスを考える
- プログラム ⑥ ヘルスケア診療所づくり Part2
- プログラム ⑦ ワークショップ

#### 2日目 10:00 ~ 16:30

- プログラム ⑧ 認証への道
- ☆プログラム ⑨ シャープニング講習会
- プログラム ⑩ ワンポイントレッシン
- プログラム ⑪ ヘルスケア診療におけるスタッフの役割、院内での人間関係
- プログラム ⑫ ヘルスケア歯科診療所づくり 「知っている」を「やっている」に!
- プログラム ⑬ ヘルスケア歯科診療所づくり フォローアッププログラム

### 参加費

	会 員	非会員
歯科医師	12,000 円	15,000 円
その他	5,000 円	7,000 円
学生・院生・研修医	5,000 円	

※非会員の勤務歯科医師は、非会員参加費となります。  
参加申込と同時にご入会の場合、入会金の割引があります。お問い合わせください。

### お知らせ・ご注意

- ・ 2日目のお弁当の用意はありません。各自で午後の開始時間までにお済ませください
- ・ 申込書を送信後1週間を過ぎても計算書と払込用紙が届かない場合は、ご連絡下さい。
- ・ 事前にキャンセルされた場合は、手数料を差し引いた参加費を返します。但し、10月24日以降のキャンセルは、ご返金できませんので、ご了承ください。
- ・ ☆印のプログラム ①、④、⑨ は事前参加登録(先着順)が必要です。

### お申し込み・お問い合わせ

携帯電話はこちらから→



下記申し込み欄にご記入後、事務局までFAXまたは郵便にてお送りください。

〒112-0014 東京都文京区関口 1-45-15-104 日本ヘルスケア歯科研究会事務局

FAX: 03-3260-4906 TEL: 03-5227-3716

ホームページからお申し込みいただけます。 <http://www.healthcare.gr.jp/>

([http://healthcare.gr.jp/keitai\\_mail2/HCM2008.html](http://healthcare.gr.jp/keitai_mail2/HCM2008.html))

## 参加申し込み Fax. 03-3260-4906

参加を申し込みます (news11-4)

ヘルスケアミーティング 2008 参加申し込み (会員専用)

(必要項目ご記入、該当欄に✓印を記入ください)

フリガナ _____	会員番号: _____	<input type="checkbox"/> 歯科医師: 12,000 円	事前登録	<input type="checkbox"/> プログラム ①
ご氏名 _____		<input type="checkbox"/> その他: 5,000 円	希望	<input type="checkbox"/> プログラム ④
		<input type="checkbox"/> 学生など: 5,000 円		<input type="checkbox"/> プログラム ⑨
フリガナ _____	会員番号: _____	<input type="checkbox"/> 歯科医師: 12,000 円	事前登録	<input type="checkbox"/> プログラム ①
ご氏名 _____		<input type="checkbox"/> その他: 5,000 円	希望	<input type="checkbox"/> プログラム ④
		<input type="checkbox"/> 学生など: 5,000 円		<input type="checkbox"/> プログラム ⑨
フリガナ _____	会員番号: _____	<input type="checkbox"/> 歯科医師: 12,000 円	事前登録	<input type="checkbox"/> プログラム ①
ご氏名 _____		<input type="checkbox"/> その他: 5,000 円	希望	<input type="checkbox"/> プログラム ④
		<input type="checkbox"/> 学生など: 5,000 円		<input type="checkbox"/> プログラム ⑨
フリガナ _____	会員番号: _____	<input type="checkbox"/> 歯科医師: 12,000 円	事前登録	<input type="checkbox"/> プログラム ①
ご氏名 _____		<input type="checkbox"/> その他: 5,000 円	希望	<input type="checkbox"/> プログラム ④
		<input type="checkbox"/> 学生など: 5,000 円		<input type="checkbox"/> プログラム ⑨
勤務先・診療所名 _____	参加申し込み人数 _____	合計金額 _____		
		人		円
住所 〒 _____		電話番号 _____	-	-
		FAX 番号 _____	-	-